

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>全国的に高齢者の発生が多く、本市においても、65歳以上が全体の8割を占め、80歳以上が半数となっている。高齢者施設、医療機関等に対し、情報共有を行うとともに、早期発見、早期治療につなげられるよう啓発を実施した。高齢者肺炎球菌予防接種の案内に、結核についての啓発、住民健診のお知らせを同封し個別通知を実施した。患者に対し、訪問等による服薬確認等の支援を実施し、確実な服薬につなげた。</p> <p>結核罹患率が下がっているが、新型コロナウイルス感染症の影響で受診控え等の影響がないか、今後の発生状況を注視しながら維持継続する。</p>
見直し・改善内容	<p>高齢者の健康診断の勧奨を強化するため、住民健診の時期に合わせた地区回覧等の啓発方法を検討し、早期発見につなげる。また、結核指定医療機関を対象とした研修会を実施し、患者の早期発見、早期受診につなげるとともに、連携を強化し、患者の服薬支援体制の充実を図る。</p> <p>患者の治療を確実にを行うことを目的とした服薬支援の強化を図るとともに、接触者健診の受診率の向上を図る。</p>